



議題 1

報道機関 各位

記者発表資料

平成22年7月8日(木)

問い合わせ先：コミュニティ課
市民活動支援室

担当：織田・平井

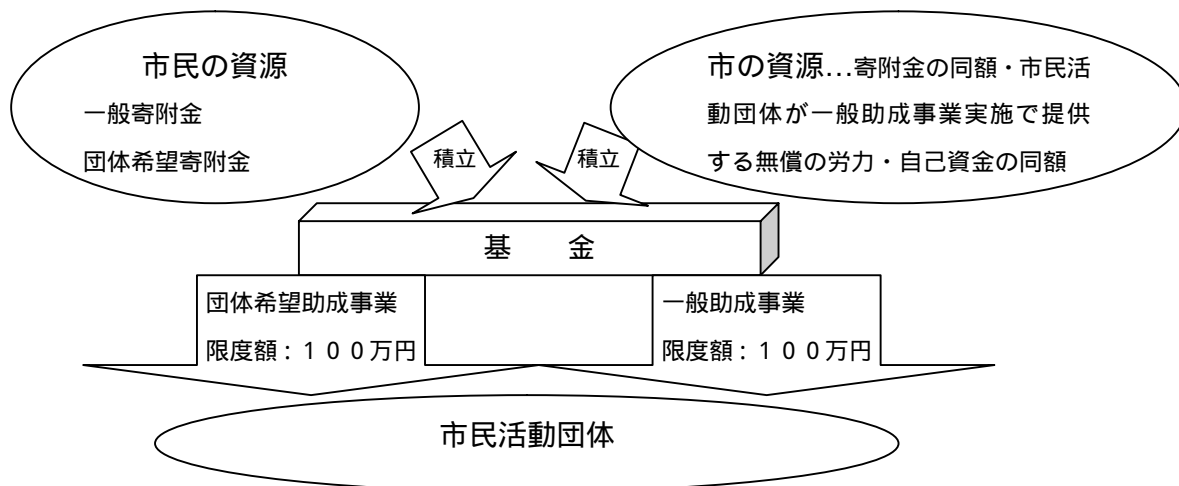
電話：813 6403

さいたまマッチングファンド助成金一般助成事業が決定しました

さいたま市では、市民の資源（寄附・無償の労力・自己資金）と市の資源を出し合
って造成する基金を活用して、市民活動団体に助成する「マッチングファンド制度」
を、本年3月に創設しました。

この基金を活用した2種類の助成事業のうち、一般助成事業について、このたび4
事業が決定し、市民活動団体と市の所管が協働で事業を実施していきます。

1 マッチングファンド制度の概要



2 マッチングファンド制度の特長

この制度は、市民からの市民活動に対する寄附金と市民の資源（寄附、労力、自己
資金）にマッチングした市の一般財源を積み立てた基金を活用して「一般助成事業」
と「団体希望助成事業」の2種類の助成事業を実施する制度です。

まず、基金の特長として、市民が無償で事業に参加する労力を市民の資源ととらえ、

1 時間当たり 500 円で金額換算して、その同額の一般財源を積み立てている点があげられます。市民が提供する労力について市民の資源として金額換算することで、まちづくりにかける多くの市民の思いを助成事業に反映することができます。

また、特定の市民活動団体を希望して寄附する団体希望寄附金と市内の市民活動全般を応援する一般寄附金の2種類の寄附を用意し、市民が市民活動を応援することで街づくりに参加したいという思いに応じて、寄附を選べるようにしました。

さらに、一般助成事業については、事業実施にあたっては、市と協働で実施することが条件となっており、それぞれが役割を分担して、事業を実施していきます。(団体希望助成事業は市と協働で実施する必要はありません)

このような点において、これまでに市では実施していない新しいしくみを取り入れた補助制度であるといえます。

3 平成22年度一般助成事業について

さいたま市市民活動推進委員会での審査を経て、次の4事業が決定しました。

(応募受付順・事業内容等詳細は別表資料をご参照ください)

事業名：わくわく さいたま いきいき祭り～心と体の健康フェスタ～

実施団体：アシスト浦和21 市協働所管：浦和区保健センター

事業名：子どもがつくるまち「ミニさいたま」実施モデル事業

実施団体：特定非営利活動法人 子ども文化ステーション

市協働所管：子育て企画課

さいたまパパ・スクール～笑っているパパになろう！

実施団体：特定非営利活動法人 ファザーリング・ジャパン

市協働所管：子育て企画課

”さいたま市エコモビリティ”普及啓発とネットワークづくり活動

実施団体：特定非営利活動法人 環境ネットワーク埼玉

市協働所管：都市交通課

4 一般助成事業募集について

募集期間...平成22年3月23日(火)～4月23日(金)

対象となる事業...市民活動団体が市と協働して、地域又は社会の課題解決のためにひとつの区の区域を超えて行う非営利で公益的な事業で、活力のあるまちづくりに貢献する事業

対象となる団体...次のアからケのすべての項目に該当する団体

ア 地域や社会における課題の発見及び解決のために、自発的かつ自主的に行う非営利で公益的な活動を行う市民活動団体であること。

イ 定款又は会則等を設けている団体であること。

ウ 事業計画書の提出日現在で、団体設立から1年以上継続してさいたま市内で活動している団体であること。

エ 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、又は信者を教化育成することを主たる目的とする活動に該当しない団体であること。

オ 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とする活動に該当しない団体であること。

カ 特定の公職（公職選挙法（昭和25年法律第100号）第3条に規定する公職をいう。）の候補者（当該候補者になろうとする者を含む。）若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とする活動に該当しない団体であること。

キ 暴力団でないこと。暴力団又はその構成員若しくは暴力団の構成員でなくなった日から5年を経過しない者の統制の下にある団体でないこと。

ク 無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律（平成11年法律第147号）第5条及び第8条に規定する処分を受けていない団体又はその構成員の統制の下にある団体でないこと。

5 一般助成事業応募状況および審査・選考方法

応募事業数... 9事業（うち4事業が助成決定）

審査方法... さいたま市市民活動推進委員会が公開で審査・選考を実施。

第1次審査... 5月18日（火）実施

提出のあった事業計画に関連する市の所管課の意見を参考として、審査基準に基づいて提出書類を委員が採点し、原則として総得点の高い事業を選考。9事業のうち6事業が選考通過。

第2次審査... 6月1日（火）実施

書類審査を通過した事業について、事業を計画した団体が公開プレゼンテーションを行い、委員会が事業を選考。6事業のうち4事業を選定。

審査基準... 社会貢献性、発展性、先進性、実現可能性、経費の適正性、組織体制

6 その他（参考）

「マッチングファンド」という表現は、愛称として使用していますが、正式な名称は次のとおりです。

「さいたま市市民活動及び協働の推進基金」

（愛称：さいたまマッチングファンド）

事業名	団体名	代表者名	市の協働所管	事業内容	総事業費 円	助成額 円
わくわく さいたま いきいき祭り ～心と体の健康フェスタ～	アシスト浦和21	代 表 荒木 利治	浦 和 区 保健センター 824-3971	「心と体の健康」というテーマに合った活動をしている団体が自らを紹介する。 屋内では、5コーナーに分け、健康測定や活動紹介、体験することにより、心と体の健康について考える機会とする。 屋外では、和太鼓演奏、音楽演奏、ダンス体験など市民活動団体の活動を披露し、一緒に体を動かすことで心の発散をする機会とする。	360,500	310,500
子どもがつくるまち「ミニさいたま」 実施モデル事業	特定非営利活動法人 子ども文化ステーション	代表理事 武藤 定明	子育て企画課 829-1909	子どもが主役で、働き、お金を稼ぎ、それを使って遊ぶという自治の模擬体験ができる「ミニさいたま」を実施し、子どもたちが生き生きと主体性を発揮でき、活躍する場を作ることによって子どもたちの自主性、創造性を育む。	1,300,000	1,000,000
さいたまパパ・スクール ～笑っているパパになろう！	特定非営利活動法人 ファザーリング・ジャパン	代表理事 安藤 哲也	子育て企画課 829-1909	さいたま市の父親を主な対象とした子育て講座「さいたまパパ・スクール」を実施する。 「もっと育児に関わりたい」と望む男性のニーズに応えるとともに、育児シーンでパパの出番を作ることで、地域全体を活性化させることを目指す。 講座終了後、受講生同士が連携をとりあいながら、地域でパパが活躍していく展開を図る。	557,500	417,500
”さいたま市エコモビリティ”普及 啓発とネットワークづくり活動	特定非営利活動法人 環境ネットワーク埼玉	代表理事 江田 元之	都市交通課 829-1053	さいたま市総合都市交通体系マスタープラン基本計画に基づき自動車に過度に依存せず環境に負荷をかけない交通体系の実現のために、イベントなどを通して市民へ恒常的に普及啓発を行い、多くの人に参加を呼びかけ、情報発信や情報交換の場を作ること、継続的に普及啓発を行うための活動体を組織化する。	1,000,000	640,000

総事業費および助成額は応募時点の数字であり、事業実施終了後に精算を経て、確定するものです。

一般助成事業の総事業費と助成金額の考え方

< 基金からの助成金 = 寄附 + 一般財源 >

< 総事業費 = 自己資金 + 基金からの助成金 > ...よって、助成額と総事業費の差額は自己資金分となります。

